校 長 室 だ よ り（No.18）

令和４年 10 月７日
丹波市立黒井小学校長
谷口　千尋

竜学（恐竜を題材とした交流学習）

ちーたんの館での学習

丹波市では、2006 年に草食恐竜化石が発見されました。兵庫県人と自然の博物館との連携により丹波竜化石工房「ちーたんの館」が設立されるなど、地域の学習拠点がつくられました。ここを拠点にして、小学校６年生での理科の学習（大地のつくりと変化）では、地域教材としての丹波竜を活用した博学連携教育を実施しています。

竜学（恐竜を題材とした交流学習）では、市内の小学６年生を「こども恐竜大使」として、「にっぽん恐竜協議会」を構成する加盟自治体に派遣しています。本年度は、黒井小学校から２名の児童が派遣されることとなりました。参加にあたっては、選考会があり２名ともが理科に対する興味関心が高く、恐竜について調べてみようという意欲を持っていました。

今回、派遣されるのは、徳島県の勝浦町です。ここで見つかったのは、丹波市と同じく草食恐竜でイグアノドン類といわれています。国内では最古級の化石だそうです。この竜学を入り口に、広く自然科学に興味をもってほしいと思います。また、地元の人との交流の中で勝浦町のよさや丹波市のよさに気づいてほしいと思います。

丹波竜の発見されました川代渓谷は、篠山層群という白亜紀の中でも古い時代の地層です。泥岩が多く、川の浸食作用によってできたポットホールや断層、岩石に割れ目、すき間にマグマが入り込んで固まった貫入など様々な地質現象がみられ「地学」を学ぶのには最適な場所です。

現地学習

ここで発見された化石は、タンバティタニス・アミキティアエ（丹波竜）をはじめ哺乳類のササヤマミロス・カワイイ、爬虫類のバギゲニス・アダチイ、両生類のヒョウゴハトラクス・ワダイ、鳥脚類、角竜類、鎧竜類など様々です。６年生では、展示施設での学習と発見現場での学習、発掘体験ができるようになっています。市の教育委員会では、ビデオ教材も活用できるようになっています。

発掘体験